



幼児教育センター設立の経緯

幼児期は、人間形成の基礎を培う重要な時期です。近年、少子化や核家族化、保護者の価値観の多様化など、幼児を取り巻く環境が大きく変化しつつあります。このような中、公私立幼稚園、保育所（園）、認定こども園を問わず、就学前の全ての幼児を対象とし、幼児教育の振興を図る必要があります。

そこで、「幼児教育センター」を設置し、ここを核として、幼稚園、保育所（園）、認定こども園における就学前教育機能の強化や、保幼小中の連携の推進を図る強力なネットワークづくりを図り、子どもたちの未来と希望を育みます。



幼児教育センターの目的

幼児期における教育は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要なものです。このことを踏まえ、本市の幼児教育全般の充実を図ると共に、教職員の質の向上及び就学前教育と小学校教育との連携及び特別支援教育の推進、就園・就学に関する子育て支援に資することを目的としています。

